

科 目 名	福祉科 社会福祉体験実習	使 用 教 材	教科書 副教材
担 当	吉岡 秀和		
単 位 数	3年次：2単位 ベーシックコース（選択）	評 価 方 法	定期考査 授業への取組み（積極的な学習態度や取組み等） 課題の提出 課外活動（ボランティア活動）

学習到達目標

- ・対人援助の基本であるレクリエーション，コミュニケーションなどに関する知識と技術を習得するとともに，高齢者や障害者に対し自立生活を支援する社会福祉援助活動に活用する能力と態度を養う。

★授業について

この授業では，コミュニケーションやレクリエーションなどを通じて対人援助に関する知識・技術を学びます。また，自らと同様に他者を尊重し，自分自身を見つめ直すきっかけになることを望みます。

★自主学習について

新聞・テレビ等で報道されている福祉に関するニュースや日常的な時事問題にも関心を持ちましょう。そのためには，毎日 15 分程度は新聞報道やテレビニュースなど見る習慣をつけ，家の人と話をしてみましょう。

休暇中にボランティア活動に参加しましょう。「社会福祉体験実習」に興味や関心が持て，授業での学習効果が上がります。

★評価について

評価の観点

- ①社会福祉援助技術に対する関心を持ち，対人援助に向けた課題に意欲的に取り組み，人間尊重の精神に基づいた高齢者や障害者の自立支援を目指した社会福祉援助活動を行おうとする態度を身に付けている。（関心・意欲・態度）
- ②高齢者や障害者に対しての社会福祉援助活動に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を活用して社会福祉援助活動の現状について適切に判断し，創意工夫する能力を身に付けている。（思考・判断）
- ③高齢者や障害者に対しての対人援助に関する基礎的・基本的な技術を身に付け，社会福祉援助活動を計画し，適切に処理するとともに，その成果を的確に表現する。（技能・表現）
- ④高齢者や障害者に対しての対人援助に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，対人援助について，その意義や役割を理解している。（知識・理解）

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 *心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
10		<p>社会福祉援助活動とは何か</p> <p>社会福祉援助活動の目的と方法</p> <p>コミュニケーションとは何か</p> <p>コミュニケーションの方法</p> <p>援助者の心がまえ</p> <p>信頼関係を築くための傾聴と共感</p>	<p>社会福祉活動とは、社会福祉分野において解決すべき社会問題を抱えた人々、集団、地域に対して援助を行うことであることを理解する。</p> <p>社会福祉援助活動の目的、対象、方法を理解する。</p> <p>コミュニケーションの本質を正しく理解する。</p> <p>コミュニケーションの方法について理解する。効果的な援助を行うための言語コミュニケーション・非言語コミュニケーションについて学ぶ。</p> <p>コミュニケーション援助を行う際の、援助者としての心がまえを理解する。</p> <p>利用者と援助者が心を通わせ、信頼関係を形成することの大切さを理解する。利用者が心を開き、生きる意欲や喜びを表現できるための傾聴と共感を正しく理解するとともに、その方法を習得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉援助の実践 ◆予習、復習の習慣を身につけることができる ●社会福祉援助活動の目的 ●社会福祉援助活動の対象 ●社会福祉援助活動の方法 ※互いに課題について話し合い、その内容を発展させることができる ●コミュニケーションということばの意味 ●コミュニケーションの意義と目的 ●コミュニケーションの基本的要素 ●言語コミュニケーション ●非言語コミュニケーション ●利用者を個人として尊重し、信頼関係を築く ●利用者の自己表現を助ける ●言語・非言語コミュニケーションに目を向ける ●傾聴 ●共感
11		<p>レクリエーションとは何か</p> <p>レクリエーション活動の流れ</p> <p>レクリエーション活動の計画と準備</p> <p>レクリエーション計画の実施～評価</p>	<p>一般的な意味のレクリエーションについて考えてみる。身近なレクリエーションについて例をあげ、話し合い、その機能と効果について学ぶ。</p> <p>レクリエーション活動の流れを理解する。</p> <p>レクリエーション活動の計画と実施するまでの準備について理解する。</p> <p>実際にレクリエーション計画を実施するときの進行の仕方、援助者の役割、記録と評価について学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●日常語としてのレクリエーション ●遊びを通じた人間性の回復 ●レクリエーション活動の機能と効果 ●レクリエーション活動の計画 ●レクリエーションの準備 ●プログラムの進行 ●実施時の援助者の役割 ●記録と評価
12		<p>計画の管理と安全対策</p>	<p>スケジュール、予算やスタッフの役割分担を含む計画の管理、会場や場所のチェック、保険に入ることなどの安全面への配慮について学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●計画の管理 ●安全対策
1		<p>レクリエーション活動の実際</p>	<p>社会福祉の援助でよく用いられるレクリエーションについて、具体例を交えながら見ていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●芸術文化活動 ●スポーツ・身体活動 ●野外活動 ●造形活動 ●学習活動 ●ゲーム ◆考査試験に対する姿勢や学習の仕方を考えることができる ※生涯にわたって学ぼうとする態度が育っている